

P-F-2

ピクノジェノール・アルギニン含有食品の 精神神経疾患患者におけるED改善作用

Efficacy of Dietary Supplement Including Pycnogenol and Arginine
Against Erectile Dysfunction (ED) Patients Suspected by Mental Disorder.

○ 青木 洋満¹⁾, 長尾 淳二¹⁾, 吉田 聡²⁾

1) 小林製薬株式会社 中央研究所, 2) 吉田医院

The health food containing Pycnogenol[®] and Arginine is considered effective against ED. But there are few study reports about mental disorder ED. This time, we confirmed the clinical study with that for mental disorder ED patients. As a result, we suggested that intake of Pycnogenol[®] and Arginine for 4 weeks is effective and safe for mental disorder ED.

【目的】

フランス海岸松樹皮エキスであるピクノジェノール[®]とアルギニンの組み合わせが、器質性EDに有効であることがこれまでに多数報告されている。しかしながら、精神性のEDに関する知見はほとんどない。そこで、今回精神神経疾患に起因すると思われるED患者に対する有効性を検証すべく臨床試験を実施した。

【方法】

事前問診により精神神経疾患患者でEDと認められた日本人男性7名（35±2.6歳）を対象に試験を行った。試験はダブルブラインドクロスオーバー法で行い、被験食品及びプラセボ食品摂取の摂取期間は各々28日間とし、ウォッシュアウト期間は7日間とした。被験食品はピクノジェノール[®] 60mg/日、アルギニン690mg/日配合の市販品（小林製薬㈱：EDICARE[®]）を用いた。評価はそれぞれの食品の摂取前後で、国際勃起機能スコア（IIEF-5）及び医師の問診にて行った。

【結果】

IIEF-5トータルスコアについて、被験食品の摂取は、プラセボ摂取と比較して統計学的有意にスコアを改善した。また、IIEF-5のすべての設問に関して改善を確認した。なお、試験期間中に重篤な副作用は確認されなかった。

【結論】

ピクノジェノール[®]とアルギニンの配合食品は、器質性のEDだけでなく、精神性のEDに対しても改善作用がある可能性が示唆された。しかしながら、精神性EDに関して、作用メカニズムは不明であり、今後詳細な検討が必要である。